

新宮山産ぐるーぷ第2154回

行仙宿巡回整備

- ◇ 実施日 11月7日(日) 小雨
◇ 参加者 梶野照雄 1名

7日に予定していた行仙宿の毛布干しなどは、雨天のため中止になったが、8月22日以来点検していない水場の状態が気になり、リーダーで雨雲を確認しながら行仙宿に向かった。

お昼12時10分、登山口に到着。四ノ川林道の上部は紅葉が進んでいる。雨は霧雨程度なので、長靴ではなく登山靴で登る。モノレールは使わず歩いて登ったので、登山口水場の落ち葉を掃除する。



林道上の紅葉

登山口に到着

水場を清掃

第1ベンチから新しい作業道に入り、先日落とした工具を探しに行

く。モノレール沿いに登りながら熊手で枯枝をかき分けて探したが、搜索範囲では発見できず、諦めてモノレール終点まで上がった。一時間で行仙宿に到着。テレビアンテナの支柱の根元をコンクリートで固めるため、作ってきた型枠の木を倉庫に収納、暗くなっていたトイレのLEDを交換する。今までの物と同じ大きさだが、LEDの数が多く明るさも増した。



行仙宿に到着

10°Cだった

LEDを交換

外気温は10°Cで寒くはないが、少し風が強くなってきた。休憩して熊手とメジャーを持って水場に降りる。

水場迄の道に異常は無かったが、雨で濡れていたため慎重に下り、17分かかった。

水場に流れは無く、水溜には大量の落ち葉が溜まっていた。顔を近づけると腐敗臭がした。何日も前に水流が無くなっているようだ。水場の谷側にクサリを取り付けるため、メジャーを伸ばして必要な長さを測る。4mあれば大丈夫そうだ。



クサリの長さを測る



堆積した落葉



底浚え後

水溜に溜まった落葉を掻き出し、底浚えをする。入ってくる水がないので短時間で空にすることが出来た。水流が無いので、次にまたまった雨が降るまで水場は利用できないだろう。



落葉を除けながら



行仙宿に戻る



ペットボトルの水を置く

行仙宿に戻りながら熊手で道の落ち葉を除ける。何かをやりながら登ると、時間は多少多目にかかるが、息切れしにくい。小屋が見えてきた時にクマ鈴の音が聞こえた。縦走者が通過して南に行ったようだ。

水場が涸れているのでペットボトルの水を3本出しておいた。下山中は何もすることがないので35分で登山口に到着、着替えて帰宅した。

(記：梶野)

行動タイム

補給路登山口 12:10→13:09 行仙宿↓13:50 水場↓14:38 行仙宿
14:45↓15:20 補給路登山口